

彼ノ矢洲友 師の教授披露 露会記念

名人大館洲楓師門下の中堅巧手である彼、矢洲友師の教授披露の琵琶演奏会は、四月十六日第一証券ホールに於て開かれ、夥しい祝贈花と超満員の入場者で近年稀れな好調の成果を収めた。写真は当日の記念である。(前列) 向って右二人目より彼ノ矢洲友、大館洲楓師、彼ノ矢洲友、桑名洲豊、前田洲月、樋口紫水、彼ノ矢洲友(二列)(右より)彼ノ矢洲友、二人おいて友吉澄水平井洲誠、荒川洲帆、松崎洲陵、稲垣洲玲、紅洲洲紅、山田洲鳳(三列)右三人目より金尾夫人、金尾洲丈、鈴木洲峯、真泉洲佳、大館美江子、森洲鶴、葛洲洲栄、一人おいて中村洲心、松崎夫人(最後列)右より彼ノ矢洲友、石田琵琶店主、宮崎洲香、他は親戚と知人である。

超満員の盛況 加藤錦陽師大会 精鋭の競演好評

東京三鷹市の邦楽協会の主催で名物男として知られる人気者の加藤錦陽師が、市民慰安にと毎年開く琵琶の大会は十五年間も続いて年中行事の一つとなり待望されている。その会が五月二十一日正午より市民会館で開催された会場は超満員の大入りで開演された加藤会長の挨拶は例年の通り呉究軒老(一水会)の松田静水名人の門人)の「河内の宿」を序番に、矢仲、山口、青木晴城、富田、坂入と浅野門下の出演。加藤さよ子、渡辺秋草の吟詠。若林晴波、山下晴楓と浅野師一門の竜虎阿波連の掛合にて「勸進帳」が上演された掛手を沸す。更に宮崎洲香、大関英子、村木桜柳と三派三様の花形女流の妙技で満場のファンを喜ばせ、会主加藤師は十八番物の「坂崎出羽守」を熱演して大喝采を受け、筑琵琶の派の前田洲月と現代女流の三大家の競演で、全ファンは只酔わされ師の「須磨の教養」で豊富な美声による熱演と独特の節調で満場を魅し絶讃を受け成功した。殿りは浅野晴楓師であるが中途退場したので失礼す。この日快晴の天候でファンを喜ばせ、歌舞伎俳優中村梅之助より祝贈の花も会主加藤氏の入柄と人望を物語っている感じである。

故叫水師遺作発表 錦心流琵琶大会 名古屋の会大人気

名古屋に於ける錦心流琵琶の長老で一水会の振興に貢献され、同支部顧問として徳高かった鈴木叫水師は、作家また俳句にも趣旨深く有名であったが昨年逝去されたので、一水会名古屋支部では故師追悼のためその遺作を発表して慰霊すべく、五月七日午後七時半より同市千種区役所講堂に於て支部恒例の春の大会を開催された。この会は稲葉葵水支部長、菅沼響水副支部長以下幹部、会員総出演の外、東京本部より谷顧問、山口理事、高崎より岡本支部長、地元吟詠家石河薫楓師等が特別出演されて好人気を呼んだ。叫水師作品「義朝公の最後」は水谷浩水のテープ録音も放送されて在り日の芸風を偲ばせ愛好家を喜ばせた。当日の出演会員は菅沼、奥村、水谷、土川、神藤、森田、阿部、小林、田中、谷津、丹野、中西、三輪、成田、西谷の諸氏である。稲葉支部長は御挨拶のみである。

甲心流吟詩大会

筑前琵琶の大家で日本橋会事務局長である岡崎市在住の堀田旭甲師は、甲心流吟詩家として「甲心」の号で多数の会員を指導し東海中部地区の名師である。甲心会の吟詩大会は五月二十一日十時より岡崎労働会館にて催され、会員の各

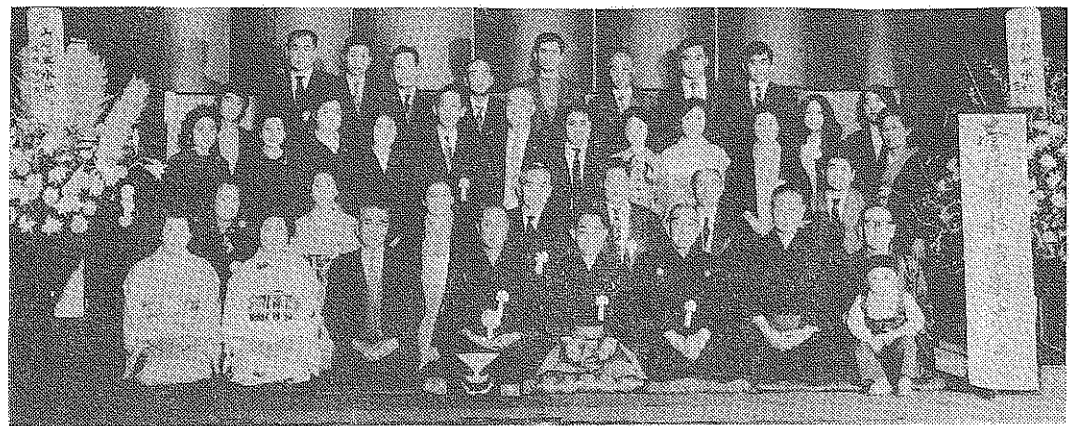
千葉で詩吟朗詠と 薩摩琵琶の演奏会

東京の薩摩琵琶正統会の有力会員である遠藤鶴東氏は、千葉市琵琶詩界屈指の名手で人格的な紳士と称えられている。遠藤氏が琵琶詩同好に呼びかけ吟詠と琵琶の会を催すこと既に三度、第四回目の公演を五月二十七日正午より千葉駅前千葉相互銀行六階ホールにて開催、吟詠と琵琶四十番を上演し声調妙節と絃技優音を聴く聴衆の激賞を受けた。正統会よりの出演名手は前田秋声、仲川秀邦、鈴木鶴龍、生田晃堂、鈴木鶴邦、遠藤鶴東の各氏で、他に薩摩両流の同好数名、旭嵐吟詠会同人等、仕舞に須田洲風さんも出場し、満員の盛会で遠藤氏の徳が光った。

三浦蓮水師入京

西宮市邦楽の巨匠である琵琶道大家三浦蓮水女師は、仙合の半田師主催の大会へ出演のため六月二日夕東京へ立寄り、さくら会を参観し、会場で鈴木雲の友社長と五年振りに会見され、三日九時上野駅発列車で仙合へ向った。

仙台菅野有水師琵琶大会の記念



戦後の仙台に琵琶樂振興のため昭和二十八年宮城県琵琶協成会を結成された主唱者菅野有水師が、去る四月十六日仙台市の日立センターホールに於て東京より八大家を招いて演奏大会を開き、超満員の大人気で良果を収め社会情勢教化に大きな貢献された。写真は当日の記念で(前列)向って右より桑原敬水、子供菅野淳一、浅野晴楓、谷澤水、山崎典水、会主菅野有水、佐久間辰雄、水藤錦輝、押川旭葉(二列) 溝井信次、庄司伊水、大野偉水、杉本淳水、菅野師夫人、菅野美都子、菊地枝扇、細野鶴子(三列) 山口いち、菅野隆志、溝井信子、溝井芳枝、鈴木慶子、菅野陽子、安齊邦男、佐藤磯水、倉林滝水、劍翠会員二人、渡辺隆子、溝井安一、加藤澄子(最後列) 菅野哲弥、菅野浩、菅野清正、鈴木康裕、他は親戚と関係者。

弁財天靈驗記 笹川師の風格芸 神秘的妙技絶讃

五月二十二日夜九時、NHKラジオ第一お好み邦楽選(全国中継)で、弁財天の伝記「江の島」と「竹生島」が放送された。江の島は箏曲で中島島子、欣一両者で、竹生島は琵琶で、筑前琵琶の名人であり現代随一の權威家と定評の笹川旭鳳(鎮江)女師であった。この曲は四年程前の笹川師芸道四十年記念に東京歌舞伎座にて催された第一回のリサイタルの際上演された創作琵琶樂「弁財秘曲伝」で井川健氏作、笹川師作曲で師自ら弁財天に扮し、名優市村竹之丞が漁夫(実は竜神)、観世栄夫が琵琶法師の役割で演じ、宏壮優美の舞台を展開して三千余の観衆を驚嘆させた。三曲の観衆の曲である。今回はラジオ放送であるから音響のみが聴きどころであったが海女(実は弁財天)、漁夫、法師三人の声色の使分け、間調子と音響に秘曲の妙音が牙え申分なき氣品が出て、崇高さを感じさせて聴者を魅したのは流石である。特に箏、十七絃、尺八、笙、小鼓、大鼓と各種樂器の伴奏の豪華さも

(笹川旭鳳師)

大人気で盛況 京北協の演奏会

豊島区芸能界の人気名手である京北琵琶協合理事長千葉玉山師と総務戸谷曙水師が首脳京北琵琶協会の演奏会が、五月二十八日夕六時より池袋東口の豊島区民センター文化ホールで催され、西島清山(詩吟)中村松山(吟舞)重田玉袖(琵琶大菩薩時)と詩吟と琵琶の交互出演で、吟では藤後(舞)瀬野、田中、磯部、佐々木、東野の各氏。琵琶では出口石水、押谷君水、古高蘭水、橋本草水、輝師舟、戸谷曙水、千葉玉山の諸師が熱烈な競技を繰り展げて満場の来聴者を喜ばせ、盛んな声援を受けて人気の程を示され成功した。

斎藤義水氏の義心 戦死者遺族を招待 錦心流琵琶の会

東京中央区日本橋堀船町居住の錦心流の名手斎藤義水氏は、品川区小山の琵琶道の大家島田春水師を顧問として久しく中絶していた琵琶へ復起されたが、今回は中央区内の戦死者遺族を招待して慰安のため琵琶音楽を楽しんで貰うと五月二十八日午後一時より日本橋公会堂にて島田顧問、一水会本部首脳、聖和会員各名手、本部役員並に地方支部役員等に出演を頼むし遺族優遇に努められ、各遺族に對

山崎光椽名人 七月札幌へ出演

札幌琵琶界の花形である筑前派の荒木旭露さんは、現代日本一の琵琶の名人と高評される大阪の大河流琵琶吟詠家日本橋会に柱であり鏡中の名宝である。山崎旭露師こと山崎光椽師一行を迎え、七月九日吟詠大会を開催されると、一行は山崎宗家、東京本部長安藤光鶴、押川旭葉、山崎光水の四人で、押川さんは橋会師範であり鏡中の名宝である。

(山崎光椽師)

彰義隊士慰霊祭に 田辺、柴野両師献奏

五月十五日は東京上野公園内にある彰義隊士戦死の日で墓前にては毎年台東区役所の主催で慰霊祭典が挙行される。今年には百五十年祭であるが、例により田辺錦波波野澄水両師により琵琶「彰義隊」の一曲が祭典行事として献奏され参列の遺族や多数の参拝者と関係者より感謝された。

琵琶四十五周年 都錦穂師琵琶 演奏大会記念



(写真説明) 東京琵琶界の名花都錦穂師の琵琶四十五周年記念演奏大会が五月六日日本橋茅場町東京証券会館にて開かれ、入場六百余人の大入りで満員の盛況であった。写真裏は当日の記念で(前列)向って右より都師の実兄、久道春水矢島大園、福沢立枝、水藤錦穂、都錦穂、土田岳心、谷暉水、大場穂花(中列)右より都トミ子、都ふじ子、初江、都佐和子、戸谷好江、伊藤錦貴、深谷穂繁、戸室清山、都しげ子、秋葉芳水、阿内穂美、高木穂芳、薄井穂景、西山錦耕、都さんの弟、利田錦葉、山崎光水(後列)右より阿部夫人、高柳矩子、金森錦司、阿部錦統、阿部氏の父、甲府志田錦輝、齋藤穂嶺、高久穂阿、大知里穂仙の諸氏とのお子様である。

赤心詩吟家元 森鶴堂師主催

赤心会春の大会

静岡市琵琶界の威勢者であり、赤心吟詠の家元である森鶴堂師が統べる赤心会第十回春の大会は、五月二十七日十時より静岡県婦人会館にて開催され、県内の吟詠詩舞の各宗家会長を始め東京よりも菊水流宗家菅根修光、永田吟詠望月暉江の三大家とその幹部等が協賛来演の大陣容で開幕された。赤心会歌を序演に開会挨拶、合詠委員長挨拶で進められ、吟詠、協賛吟詠、合吟独吟と十番番がつづき、次に単吟コンクールが小野、岡尾、望月、小川他三番番員

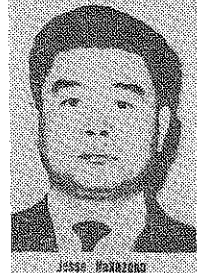
吉川英史先生が 印度音楽舞踊視察

日本琵琶楽協会副会長で邦楽評論家として有名な吉川英史先生は去る一月十五日から半月間に亘り印度へ旅行されて、インドの音楽と舞踊に就て調査して帰国された。この調査旅行で得た先生の感想を伺う機会が望ましい。

大野皎月師活躍

京都市大山崎町に住居の講談琵琶の日本一の名匠大野皎月師は、現時NHKテレビの連載ドラマ「新平家物語」の影響で、民衆の関心が高まり、平家興亡の歴史に深い興味を寄せ、哀愁の音楽琵琶がこの波に乗ったか琵琶愛好気風が高まって来た。特に京都地方は平家一門の王城地でもあっただけに古えを思ふ歴史探究者は一層関心を強めて琵琶を聞きたいという人が多く、各方面より師へ出演の申込みで忙しかつた。この所大野師の人氣は高まりつつあると。

中園静洋氏来日



(中園静洋氏)

米ロスアンゼルス在住の紳士で琵琶楽愛好者として有名な中園静洋氏は、特種乗務の視察旅行で三月下旬福府を出発、中国と日本の各地を視察、四月中旬東京青山元錦城会の本部を訪問され、芸の友社鈴木社長とも会見談話されて旧交を温め、五月一日帰米された。

故窪田師三年忌

輝水会の柱石と世評された名匠で、真実一路の社交家でもあった甲府市の窪田錦晃師逝いて三年、七月の祥月命日に先立ち東京の輝水会本部では甲府の霊域に墓参の爲め五月十三日に福沢立枝未亡人を始め金森、吉川、西山、阿部、都、小沢、伊藤の主会員が揃って甲府に向い、十四日に窪田未亡人志田、長谷川、近藤の支部首脳と共に墓参して冥福を追祈されたが午後は新築完成の窪田家で落成内祝を兼ねた演奏懇親会を開き本支部役員らの親和を誓った。

薩摩義士顕彰会

岐阜県に残る宝曆治水工事で薩摩藩士の平田親負翁奉奉の自叙事件は、武士道の魁鑑として顕彰さ

京都協会名手特出 松山の琵琶大会

信望厚い薩摩琵琶の大家佐藤亮絃師会長の四国松山市の愛媛琵琶連盟では、京都琵琶協会有志の観光団(田中、矢吹、植村、梅原、平井)の訪松を機に四月二十三日午後一時より松山市堀の内市民会館に於て春の琵琶大会を開催し、愛媛連盟会員と京都協会名手特別出演で妙技の競演が展開され、愛好者の臨んだ盛況であった。当日の出演者は連盟側は佐藤会長、森脇旭悠、佐竹旭都、升久旭好、石塚旭奏、浅田芦水、村上旭隆、栗田絲水、白石旭優諸氏他十余名、京都側は前記の五名である。

山崎旭幸会連が 箱根で懇親会を

大阪の名匠山崎旭幸師門下の旭幸会東京本部の有志は、山崎師を迎えて五月十四日に新緑映ゆる箱根強羅の紅葉園に於て懇親会を開催し、山崎、安藤本部長、押川旭葉、佐藤旭天紅さん等十余人が参加して暫し弾交を楽しみ、温泉に心身を温めて清宴を開き談話の花を咲かせて一泊し、翌日観光を楽しんで帰京された。

石田琵琶店主催 江島神社琵琶講 奉納演奏会記念



(写真説明) 琵琶芸能の守護神である江島の島弁財天江島神社の敬神琵琶講である東京の琵琶老舗石田琵琶店が講元で毎年行なう奉納琵琶祭は、去る五月三日江島神社へ昇殿参拝、記念撮影後午後〇時半より拝殿に於て厳かに行われ参詣衆を癒した。写真は社務所前での記念で(前列)向って左腰かけの人より大館洲楓、辻清剛、旗を持つ石田琵琶店主、神官二人、石田春子、鈴木蒼士、田辺錦波、田中旭嶺、弘沢雨水、曾我竜城(二列)同じく小沢錦弥、八束一峰、古家絃風、一人おいて前田洲月、山田幻水、一人おいて押田旭翁、仲川秀声(後列)二人目平野鉦水、平井洲誠、三人おいて須田旭綱、原島旭旺、青山旭光の諸氏と会員である。

旭幸会東京本部が 伊藤旭紫さん歓迎

米ロスアンゼルス居住の筑前琵琶の名手伊藤旭紫さんが、訪日観光団に参加し四月中旬訪日され郷里広島を始め十四年振りに各地を見物、五月七日京都で催しの橋会全国大会も参観されて二十六日東京入りされたので山崎旭幸師の東京本部では、昨秋山崎師渡米で受けた厚意に対し謝意を含めた歓迎会を五月二十七日杉並区高円寺の根津会館で開き、安藤光鶴本部長、光捷夫人、佐藤旭天紅、井坂旭長、原田旭鳳、木下旭竜、松村旭奎、野村旭福、木村旭桂、小島旭清の諸氏出席、主賓伊藤旭紫さん、倍賞に鈴木葵の友社長、鈴木喜美子三氏を迎えて清宴を張り、

柴田旭堂師一門 琵琶塚前で献奏

NHKテレビの新平家物語連載によって史蹟平家物語が大きく関心が持たれる。平家と神戸は深い因縁に結ばれ、清盛塚、琵琶塚、教盛の首塚、須磨寺を始め多くの遺跡があり観光者が多い。去る四月二日神戸平家物語の会主催で琵琶塚の前で平家の赤旗十流を建て琵琶祭が催され、筑前各匠柴田旭堂女師が一門十余人と同行し、塚前の仮舞台で数曲の琵琶を献奏し参会者一同より賞讃と感謝を受けられた(写真は当日の記念で最前の人が柴田師である)。

曾我兄弟の墓前で 竜城師が琵琶献奏

父を討たれた曾我十郎、五郎の兄弟が、十八年目に仇敵工藤祐経を討ち果し日本三大仇討として今に美名を残す曾我兄弟の墓は小田原市下曾我の城前寺にある。五月二十八日は故事としてかき焼祭が行われ兄弟の霊を弔われる、鎌倉琵琶の巨匠曾我竜城師はこの日自作の「門出曾我」の一曲を献奏して慰霊された。同寺には曾我兄弟に関する色々の資料が保存されている由で、遺跡保存会、市観光協会、俳優協会等が力を入れている。

聖徳太子奉讃古典 芸能邦楽献奏大会

筑前琵琶の大元老で宗教琵琶宗家として有名な高円寺在住の江頭法輪翁は、我が国文化の大恩人である聖徳太子を尊崇し、右京区嵯峨釈迦堂(清涼寺)内に全日本聖徳会を組織し、全国的に太子の偉業頌揚に尽力されつつあるが、江頭老師は尺八道場の菊水湖風師と共に五月三日午前十時より釈迦

七月下旬に 山口師北海道へ

一水会本部理事の実力者である山口速水師は、今夏も北海道巡演を決行することになり七月二十二日函館、二十三日札幌、二十四日釧路、二十六日苫小牧、二十七日上砂川の予定で各地を公演し二十九日に帰京されると。

押田師テレビ出演

東京旭会の大政所と称えられる女流の権威押田旭翁師は、六月一日午後NHKテレビ昼のプレゼント女流作家平岩弓枝の日に琵琶「伏見の雪」を演奏して好評を受けた。

聖和会の演奏会

錦心流一水会の本支部役員中の精鋭連で結成している聖和会の演奏会が六月六日夕六時より京橋区民館にて開かれ、脇田湘水、内田琴水、平野鉦水、小林聡水、高橋渥水、鈴木琢水、藤川晴水、松本孝水会員の順で熱演が展開された。

故旭美師五七忌

東京旭会元幹事で女流大家と全国に高名であった鈴木旭美女史が逝かれて早くも五七忌に当る五月十一日に同家で厳かな法道が行われ故人の冥福を祈念された。

神戸旭岡会春の会

筑前琵琶会の元老、神戸の松岡旭岡会長の旭岡会春の大会は、五月五日正午より長田区役所ホールで開かれ、一部は松岡、田中旭昇、若宮、富樫、伊藤の絃で高千穂旭楓以下の出演で十二曲が上演され、二部は松岡会主、田中、浜本、富樫、木庭の絃または独、合奏で喜多、田中、松岡、若宮、尾山山瑞穂、西川、伊藤、榎本旭楓、梅原、樋口、大西の諸氏が出演し十一曲を上演し大賑であった。

京都琵琶協会大会

京都琵琶協会の長老伊吹正陽氏会長の京都琵琶協会は、薩摩筑前両派の名手田中鶴水、植村真水、平井春嶺、矢吹華水、梅原旭壽、古谷寛水、安在旭康、木村維水諸氏ら中堅で組織され二十年近い歴史を有し毎年数回の公演を行っているが、春の合同演奏大会は五月二十一日一時より金比羅宮会館で催され、伊吹会長、田中、小林、植村、安住、梅原、若宮、古谷、矢吹、平井、戸田、戸倉、阪本、伊東、高千穂旭楓諸氏他十名が出演されての熱演で賑った。

琵琶振興会主催 琵琶吟詠研究会

東京琵琶界に名振奏者と名声高い鈴木流泉会長の日本琵琶振興会が主催する月例の琵琶吟詠研究会は五月例会を二十一日午後一時より七時まで渋谷区千駄谷の鳩森八幡宮宴会場が開き、望月唯江氏の「詩

紅水会の研習会

札幌四絃界の古老大家である山崎紅水師の錦心流紅水会では、五月二十八日午後二時より芝木柔道場で琵琶研習会を開き、びわ演奏は山崎会長、渡辺、佐々木、加藤、橋本、長谷川、天野、室谷、小幡井上、大友、草薙の会員の他に来賓の二反田、広川、若林、中井、塩谷の諸氏と詩吟家数名が協賛出演された。

武絃会の研習会

東京都小金井市にある武絃会の琵琶研習会は、五月七日福祉会館で開き、伊藤繁水、高杉洲崎、村木桜柳、清水源城、坂本大村、村村、佐藤、橋本、中島、小嶺諸氏他数名参加出演された。

輝絃会の演奏会

錦心流一水会所属の輝絃会の演奏会は五月二十八日午後一時より世田谷一丁目天神社事務所で催され、当番幹事の佐藤氏と菊地甘水、杉本、内田、関、松田珠水の本部各理事、寺山、大沢、直井、秋山漢水、松本諸水、佐藤、入江二瓶、後藤の諸氏と詩吟人も出演し久し振りの会で賑った。

琵琶詩吟名匠録

- 錦琵琶本部 宗家 水藤 錦 176 東京都練馬区旭町三ノ三 電話(80)四四九八番
筑前琵琶橋会師範 旭邦会 大坪 旭 邦 154 東京都世田谷区梅丘一ノ六 電話(42)〇五六〇番
詩吟静風流鳳凰会 旭鳳 笹川 鎮江 112 東京都文京区千石町三ノ三 電話大塚(41)〇七三三番
筑前琵琶橋会師範 旭嶺会 田中 旭 嶺 160 東京都新宿区三栄町一六 電話(42)四五一九番
師範 河野 旭 保 802 北九州市小倉区馬場一ノ四 電話(52)八三四〇番
宗家 竹下 翠 風 166 東京都杉並区下高井戸 電話(三三)三三三三番

筑前琵琶橋会師範

- 旭柳会 松本 旭 柳 461 名古屋市中区東区東二丁目二ノ二 電話(三三)五二六〇番
事務局長 堀田 旭 甲 444 岡崎市福寿町七 電話(三三)四四七七番
筑前琵琶橋会師範 稲垣 旭 玲 047 小樽市花園五丁目七ノ九 電話(〇五)三三九〇番
大和流琵琶吟 板谷 旭 邑 730 広島市福山市二〇番一五号 電話(〇五)二二九九番
旭城会 林 田 旭 城 522 彦根市中中央町六ノ三 電話(〇五)三二二六番
大教司 須田 旭 綱 150 東京都渋谷区富谷一ノ五 電話(40)二二三八番
筑前琵琶橋会師範 石河 旭 豊 穂 464 名古屋市千種区徳川山町三ノ七 電話(〇五)四七七八〇九番
師範 須田 旭 綱 150 東京都渋谷区富谷一ノ五 電話(40)二二三八番
師範 大津 旭 紅 167 東京都杉並区南荻窪一ノ七 電話(三三)三三三三番
師範 原島 旭 粧 160 東京都新宿区西新宿六ノ七 電話(34)五五六四番
師範 藤巻 旭 鴻 171 東京都豊島区高松町三ノ三 電話(三三)六四四五番

筑前琵琶橋会

- 師範 上山 旭 壽 150 東京都渋谷区東二丁目八ノ二 電話(40)五三三七三番
北村 旭 良 680 鳥取市片原四ノ二七 電話(85)二二二二番
久徳 旭 蘭 651 神戸市東灘区八幡通五ノ六 電話(78)二二二二番
佐伯 旭 瑛 577 東京都東区東一ノ八二二 電話(42)一四八二二番
花房会 花 方 旭 嶺 141 東京都品川区平塚二ノ八ノ六 電話(42)〇一〇八番
大和流琵琶吟 安藤 光 鵬 158 東京都世田谷区東玉川町三ノ三 電話(41)八二二二番
木下 旭 竜 272-01 千葉県浦安市猫実二四四五 電話(57)二二二二番
廣瀬 翠 紅 187 東京都小平市仲町一ノ九 電話(35)二二二二番
師範 柴田 旭 堂 651 神戸市東灘区上筒井通一ノ二 電話(78)二二二二番
師範 田中 旭 昇 653 神戸市長田区梅ヶ香町一ノ一八 電話(〇六)〇一〇一八番

錦心流琵琶派宗家

- 輝水会北米支部 支部長 志田 錦 輝 400 甲府市相生三丁目四ノ七 電話(35)二二二二番
支部長 長谷川 錦 侯 405 山梨市小原西 電話(35)〇一〇一〇番
支部長 近藤 錦 秋 400 甲府市朝日三丁目一ノ七 電話(22)八五五七番
支部長 福手 錦 稜 400 甲府市朝日三丁目一ノ七 電話(22)八五五七番
支部長 福手 錦 稜 400 甲府市朝日三丁目一ノ七 電話(22)八五五七番
支部長 福手 錦 稜 400 甲府市朝日三丁目一ノ七 電話(22)八五五七番

筑前琵琶、詩吟撰摘流

- 師範 佐野 旭 晴 657 神戸市灘区上河原通三ノ二 電話(86)五三一九番
師範 小野 旭 枝 802 北九州市小倉区米町四丁目 電話(52)三三三三番
大和流琵琶吟 師範 三木 光 照 535 大阪市旭区赤川町四ノ七 電話(42)八二四九番
吟詠教授、吟松会 会長 中村 松 聲 430 浜松市東区町三七一〇 電話(53)七六六〇番
空城流吟舞詩吟斗南会 宗家 村上 空 城 010 秋田市保戸野すわ町八ノ一八 電話(25)七二五三番
師範 三田村 琵琶 糸 113 東京都練馬区旭町二ノ二四 電話(90)一四二四七番
師範 西山 錦 耕 176 東京都練馬区旭町二ノ二四 電話(90)一四二四七番
師範 小沢 錦 弥 116 東京都荒川区荒川三ノ三 電話(37)三三三三番
師範 入谷 錦 鳳 414 伊東市湯川一ノ二四 電話(37)五二九二番
師範 藤巻 旭 陽 171 東京都豊島区高松町三ノ三 電話(33)三六四五番

精密部品加工業(腕時計部品)
ネクタイ整形具(タイフレンド)製造販売
平井精密工業 有限会社
本社 所沢市日吉町17-13 電話 0429 (22) 3175
工場 所沢市荒幡218 電話 0429 (22) 3660
社長 平井 円吉(洲誠)

染料・染色助剤・化学工業薬品
合成接着剤・界面活性剤・製造卸商
株式会社 戸谷染料商店
社長 戸谷 曙水
本社 東京都台東区下谷2丁目8の9
電話 (873) 3111, 3112, 3113, 3114, 3115
工場 埼玉県草加市吉町1丁目5の21番地
電話 草加 0489 ④4955番

最古の傳統と最高の技術
薩摩琵琶 専門製作
附属品一式
石田琵琶店
創業明治十一年
電話 芝居町 芝居町 芝居町
西久保巴町 電話 四八八番

全国学校・病院・工場給食
即席 ロークス
カレー、ハヤシ、ホワイト
給食物資製造販売
株式会社 ロークス本舗 取締役会長 稲葉新一(葵水)
取締役社長 稲葉 卓夫
本業所 名古屋市昭和区鳥西町2の7
名古屋市中区和区東通1の2
電話 代表 (882) 6631
【厚生省許可特種栄養食料】

名物天ぷら 天 政
札幌市南三条西三丁目
電話 (231) 2000番
御宴会、御会食に 和洋中華料理
各種コース御用命を
お酒ご新鮮魚 大衆的実質酒場
荒井屋
友吉 澄水
東京浅草雷門横
電話(84)四二五一番

洋服のお誂えは
テーラー 加藤 加藤 錦 陽
東京三鷹市井の頭3ノ19ノ6
電話 (0422) (43) 7965

薩摩琵琶製作
三田村 琵琶 糸
東京都渋谷区神山町八番地号
NHK放送センター1西口前
電話 渋谷 六八二二番